

熊本県特別支援教育の現状

熊本県特別支援教育研究会

会長 西正道

1 はじめに

熊本県特別支援教育研究会は、小中学校の特別支援学級や通級指導教室の会員が所属する12の支部と、17校の知的障害特別支援学校で組織されている。会員数は、小中学校の特別支援学級の増加と、知的障害特別支援学校の新設に伴い増加し、2000人を超えている。

昨年度は、昭和35年度から毎年実施してきた夏季研修会が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できないなど、運営面での苦勞が絶えなかった。しかし、研究会のHPを刷新し、組織や事業の在り方について検討・改善を行うことができた。

今年度は、九特連大会をWebで開催する予定である。新しい形での研修会を実現することで、これからの本研究会の充実・発展を図りたい。

2 特別支援学級、通級指導教室の設置状況（令和3年度）

種別	小学校			中学校			計		
	設置校	学級数	人数	設置校	学級数	人数	設置校	学級数	人数
知的	292	403	1964	139	166	727	431	569	2691
自・情	293	481	2642	134	190	1075	427	671	3717
難聴	33	33	46	14	14	20	47	47	66
病弱・院内	54	54	81	25	29	37	79	83	118
肢体不自由	78	78	117	36	36	43	114	114	160
弱視	6	6	6	7	7	9	13	13	15
言語通級	15	24	258	0	0	0	15	24	258
難聴通級	2	3	7	1	1	4	3	4	11
自・情通級	14	17	186	2	2	18	16	19	204
L・A通級	46	48	713	17	18	203	63	66	916

※病弱学級は、熊本市内の病院内学級は「院内学級」という。

3 特別支援学校の設置状況（令和3年度）

特別支援学校	小学部	中学部	高等部	高等支援	計	
知的障害 教育校	設置校	12	12	13	3	17
	学級数	118	79	88	53	338
	人数	472	347	598	421	1838

※令和3年度知的障害支援学校2校開校

4 令和3年度 熊本県特別支援教育研究会事業計画

月	全体的内容	学級・教室・学校別事業
4	・組織編制 各支部事務局会	○難聴・言語障がい教育研究会 県研究大会 (九難言7/29.30) ○自閉症・情緒障害教育研修会 総会、研修会(九情研8/6) ○各特別支援学校 公開授業研究会(6校予定)
5	・合同委員会(オンラインにて)	
6	・HPによる書面総会	
8	・九特連熊本大会(県特研夏季研修会と合同開催、WEB開催)	
2	・評議員会(オンラインにて)	
3	・「あゆみ」第61号HP掲載	

5 熊本県特別支援教育の推進について

○本県特別支援教育取組の方向

共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築を目指して

- ①一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の徹底
- ②関係機関との連携強化による切れ目ない支援の充実
- ③職員の特別支援教育に係る資質と専門性の向上

○特別支援学校の新設

- ・平成29年度 熊本市立平成さくら支援学校(高等部)
- ・平成31年度 熊本県立熊本はばたき高等支援学校
- ・令和2年度 熊本市立あおば支援学校(小中学部)
- ・令和3年度 熊本県立かもと稲田支援学校(小中高等部)
- ・令和3年度 熊本県立鏡わかあゆ高等支援学校

○研究活動の充実と推進

九特連熊本大会(令和3年 8月5日～6日) ※WEB開催

- ①大会主題「10年後を見据えた特別支援教育の推進」

～新しい時代に求められる教育とは～

- ②講演

講師 バーンズ亀山静子 先生

(特別支援教育士スーパーバイザー・早稲田大学大学院非常勤講師)

- ③分科会

「日常生活の指導」「生活単元学習」「教科別の指導」「作業学習／進路指導」「自立活動」「交流及び共同学習」「合理的配慮の実際」の7分科会を実施する予定。